



ルー
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2025年6月1日

No. 133

わたしは、平和をあなたがたに残し、
わたしの平和を与える。

ヨハネによる福音書 14章27節・新共同訳



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマの信徒への手紙 12章15節

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL: <https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



福音の日課に示されている「住む」と訳されている言葉はギリシャ語の「モネー」になりますが、新約聖書では 2 箇所のみ用いられているに過ぎません。今日の日課ともう 1 箇所は、ヨハネ 14 章 2 節「わたしの父の家には住む所がたくさんある。」の「住む」になります。

ところで、続く 15 章には「イエスはまことのぶどうの木」という有名なたとえがあります。このたとえを通して繰り返されているのが、「つながっていないさい」という表現であり、9 節以下では「とどまる」という表現が繰り返して現れているのです。日本語では「つながる」と「とどまる」と違った印象を与えているのですが、実はいずれも同じギリシャ語「メノー」の訳語になります。このメノーは、先の「モネー」の派生語になっているのです。つまりこの言葉を軸として、14 章、15 章が展開されているということがわかるのです。

14 章で「住む」と告げられ、15 章になると同じ言葉が「つながる」「とどまる」と言われているわけですが、いずれにしても主と私たちとの関係について言われているのだとわかります。そしてこれがイエスの言われている「わたしの平和」「与えられる平和」ということなのです。つまり、14 章で「住む」、15 章で「つながる」と言われているのは、「与えられる主の平和」ということです。

また、ルーテル教会の葬儀式文の中に、「納棺の祈り」というものがあり、次のように祈られています。「私たちのために場所を備えようと約束された主の御言葉の通り、あなたがその御手のうちに迎え、この世の別れが永遠の別れでないことを覚えさせ、御許において再

び顔と顔を合わせる日を望ませてください」。

つまり、主が与える「平和」とは、私たちがこの世に生きている限りのことなのではないということです。人がたとえこの世をさる時が来たとしても、「来て住む」と言われる主にあって、人は平和のうちに生きるのです。このように「父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む」ということは、「わたしの平和を与える」ということにほかならないのです。主が、私たちのところに来て、一緒に住む。私たちが悩みや苦しみ、不安を抱える現実のただ中に、神が来て、一緒に住んでくださる。たとえ私たちが置かれている状況は平穏に見えないときにも、この一緒に住んでくださる神によって、私たちは主イエス・キリストが十字架によってもたらされた平和を得、安心して生き始めることができるのです。主の平和にあって生きるとは、こういうことなのです。

カトリック教会の雨宮神父はまた次のように書いています。「この関わり（すなわちイエスの言葉に身を置き『聞く』こと）に『あなたがた』が生きようとするとき、『あなたがた』が神に尽くすのではない。むしろ、神が尽くす。」

このすべての業において、神は私たちの主語となって、私たちと一緒に住むほど、しかも生きている間はもちろん、死んだ後も変わることなく一緒に住んでくださるのです。一緒に生きてくださるのです。

私たちのために神が尽くすとは、こういうことであり、私たちはこの主にあって、与えられた平和のうちに、安心して生き続けることができるのです。（復活節第 6 主日）

5月5日・6日、佐藤先生、〇野〇之さんと3人で東京教会での全国総会に出席しました。世の中はいわゆる連休後半で、新大久保は今人気のエリアで人、人が溢れかえり、会場に行くまでが大変でした。全国から集まった懐かしい牧師一実習で藤が丘教会にいらしていたかつての神学生の先生がた一、久しぶりにお会いした方々、皆さんとの再会は嬉しいものになりました。6日の朝禱は大和先生の説教で、「起き上がれ、自分の足で立て」という力強いメッセージを頂きました。

前回までは3日だった総会も今回より2日間となり、事前に総会資料を読むことが周知されていたので、進行もスムーズに行なわれたと思います。

色々な課題も皆さんもご存知のように牧師数の減少、それに伴う兼牧。高齢化による信徒の減少、今までどおりの体制を保つことが困難になっているという状況をお聞きました。2日目はあいにくの雨模様で、何となく、教会のこれからを考えると溜息をつきたいような気持ちを感じていました。

しかし閉会礼拝で、浅野先生から教会は「祈り、神様を讃美し、礼拝をまもる。」と言う説教をいただき、まさに目から鱗の思いがしました。いつも神様が共にいてくださり、信徒の皆様と礼拝をまもる恵みを頂いている。教会の原点を改めて思い起こしました。帰り道は灰色の空に一筋の希望を見たようで、足取りはスキップしたくなりました。



第 26 期東教区女性会・第 3 回会長会 & 信徒の集い

4月21日（土）10時半より、日本福音ルーテル聖パウロ教会を会場に、東教区の女性会がおこなわれました。当教会からは、入山雅子さん、江〇〇子さん、〇谷〇子さん、永〇〇子さん、山〇〇子が出席いたしました。

今年の主題は、「信仰の絆によって聖霊が働き、キリストに在って一つとなる」
～希望・平和・多様性～ です。

午前中は、小勝奈保子牧師の奨励として「心の灯り」と題してのお説教、その後、各教会紹介、あり方検討委員会報告、それから、

教区ごとの顔合わせをして親睦の時を持ちました。

今年度は、教区の信徒間の交流をはかるために、3万円の補助金が準備されることになり、私たちは秋に、城南神奈川地区の交わりの場を設ける予定です。

午後は、ベタニアホーム、保育園を見学しました。ベタニアホームの伊丹桂施設長と菊川保育園の尾木一枝園長のお話、それぞれに働いておられる方からも直接お話を聞き、現代社会の問題を肌で感じることができ、とても良い学びとなりました。（山〇〇子）

●女性会だより

5月18日 女性会参加者 10名
司会、祈り 小○姉

1 聖書の学び

マタイによる福音書5章9節 人権
「平和を実現する人々は幸いである。」

2 女性会例会

①4月12日 聖パウロ教会での春の会長
会報告

②在り方検討委員会報告

4月28日 第8回在り方検討委員会の
報告と城南神奈川地区の集まりにつ
いて

9月27日 藤が丘教会での開催を女性
会会員の賛同と佐藤先生の下承を頂き
決定した。詳細については今後城南神
奈川地区女性会と協議していく。

③会計から、2025年度の藤が丘教会女
性会登録は27名の報告があった。

次回は6月15日

●CS「母の日」のこと

母の日に、子どもたちと一緒にカードを作
りました。

カードは、子どもたちが自分の手形を使っ
て、個性豊かなデザインになりました。中を
開くと、ステンドグラス風に彩られたポップ
アップのメッセージカードが飛び出す仕掛け
にして、お母さんへの感謝の言葉を書き添え
ました。6名の子どもたちは、細かな作業も
頑張って、心を込めて制作し、どれもがとて
も可愛らしく仕上がりました。世界に一つだ
けのプレゼントを受け取ったお母さんたち
は、どんな気持ちだったのでしょうか？

(○野紫○)

今月、受洗記念日を迎えた方々

2日 ○山○子姉

3日 田○○子姉、○田○照兄

6日 田○○夫兄、森○○子姉、
武○○子姉

29日 ○原○子姉



おめでとうございます。

わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

ローマの信徒への手紙12章15節

●藤が丘教会の情報は、右のQRコードから



●シリーズ・ロウソク物語

【第3回・ロウソクの正しい使い方】

上手に点火・再点火するには…。

芯糸をまっすぐ立て、芯の根元に火を近づ
けろうをゆっくり溶かすと、点火しやすくな
ります。芯の先端に火をつけるだけでは、芯
だけが燃えて途中で消えてしまったり、完全
に点火するまでに時間がかかります。特に冬
場の気温が低い部屋でロウソクに点火する場
合は、この方法が有効です。再点火の際、頭
部のほこりを取り除いてください。また、途
中で消えてしまったら、芯がろうの中に埋ま
っていないか確認し、芯が2ミリ以下の場合
には、マッチなどの火でろうを溶かし、液だ
まりを捨て、芯糸を5ミリ以上にすると点火
しやすくなります。(了)



📱スマートフォン
で、こちらのQRコードを読み込むと、教会
のさまざまな情報を、
確認出来ます。